

平成 21 年度  
産業廃棄物実績報告書入力集計等業務報告書  
(平成 20 年度実績調査)

平成 2 2 年 3 月

岩 手 県



## 目 次

第 1 章 調査の概要-----	1
1.1 調査業務の目的-----	1
1.2 調査の内容-----	1
1.3 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理-----	2
第 2 章 調査結果の概要-----	6
2.1 平成 20 年度の産業廃棄物の排出量-----	6
2.2 平成 20 年度の産業廃棄物の処理状況-----	10
2.3 岩手県産業廃棄物排出・処理管理システムの作成結果-----	13
第 3 章 産業廃棄物処理業者の実績-----	16
第 4 章 産業廃棄物多量・準多量排出事業者の排出・処理実績-----	19
第 5 章 産業廃棄物の排出・処理状況の結果-----	21
第 6 章 産業廃棄物の将来予測-----	24
統計表 1 業種別・種類別の排出量-----	29
統計表 2 種類別の発生及び処理量-----	30
参考資料（調査に関する基本的事項）-----	32



## 第1章 調査の概要

### 1.1 調査業務の目的

本事業は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下、「廃棄物処理法」という。）に基づき、産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出される産業廃棄物処理実績報告書等の入力及び集計並びに県内全体の産業廃棄物の排出量や処理量等の解析及び推計を行い、県内における産業廃棄物の処理量等の統計資料を得ることにより、産業廃棄物の適正処理に資することを目的とした。

### 1.2 調査の内容

#### 1)産業廃棄物処理実績報告書等及び多量・準多量排出事業者処理計画実施状況報告書の入力

##### (1)産業廃棄物処理実績報告書等の入力

産業廃棄物実態調査等システムに、次の産業廃棄物処理実績報告書等に記載の各項目を入力し、電子データ化する。

- ・産業廃棄物処理実績報告書（様式第23号）
- ・特別管理産業廃棄物処理実績報告書（様式24号）
- ・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の運搬実績報告書（様式25号）
- ・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の処分実績報告書（様式26号）

##### (2)多量排出事業者処理計画実施状況報告書の入力

産業廃棄物実態調査等システムに、（特別管理）産業廃棄物処理計画実施状況報告書（様式第2号の3、様式第2号の5）に記載の各項目を入力し、電子データ化する。

##### (3)準多量排出事業者処理計画実施状況報告書の入力

産業廃棄物実態調査等システムに、（特別管理）産業廃棄物処理計画実施状況報告書（様式第3号）に記載の各項目を入力し、電子データ化する。

##### (4)多量・準多量排出事業所処理計画書の入力

産業廃棄物実態調査等システムとは別に、（特別管理）産業廃棄物処理計画書（様式第2号の2、様式第2号の4、様式第1号）に記載の各項目を入力し、電子データ化する。

#### 2)県内の産業廃棄物発生量等の解析及び推計値の算出

(1)、(2)、(3)の情報を基に産業廃棄物の排出量や処理量等の算出を行った。

#### 3)環境省が実施する調査に係る各種調査票の作成

環境省で実施する産業廃棄物の広域移動量調査、産業廃棄物行政組織等調査、産業廃棄物排出・処理状況調査、感染性産業廃棄物の中間処理業者の処理実績、温室効果ガスに係る調査票を作成した。

#### 4)「岩手県産業廃棄物排出・処理管理システム」の作成

1)のデータを基に、各種の分析等がシステム上で行えるよう分析ツール(岩手県産業廃棄物排出・処理管理システム)の作成を行った。

### 1.3 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理

#### 1)産業廃棄物処理業者の報告書の整備

##### (1)物流情報の整理

平成 20 年度実績として産業廃棄物処理業者の実績報告書の情報は、廃棄物の種類、量、委託者( 排出事業者 )及び所在地、処分業者名及び処分方法、処分先所在地等の整備を行い、更に、排出事業者及び所在地と処分業者及び所在地の関係から、表 1.1 に示す物流コードに基づき整理した。

なお、委託者の排出事業者と業者( 中間処理残さ物を委託 )の識別は、「委託者の名称と所在地」と「県内の中間処理業者と処理施設所在地」のマッチングを行った。

**表 1.1 物流フローの整理内容**

情報ソース	流れ		処分区分	物流コード(委託者)			備考
				事業者	業者	自社	
処分業 の報告	県内	県内	中間	A	ア	サ	
	県内	県内	最終	B	イ	シ	
	県外	県内	中間	C	ウ		
	県外	県内	最終	D	エ		
収集運 搬業の 報告	県内	県外	中間	E	カ	ソ	
	県内	県外	最終	F	キ	タ	
	県内	県内	中間	Q	R		
	県内	県内	最終	S	T		
	県外	県内	中間	U	V		
	県外	県内	最終	W	X		

##### (2)排出事業者の産業分類(業種)の整備

(1)の物流情報で整理した事業者( 産業廃棄物排出事業者 )及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整理した。

## 2)事業者の報告書の整備

平成 20 年度の実績として、多量排出事業者及び準多量排出事業者からの実績報告の情報は、事業者の業種、廃棄物の種類、量等の整備を行った。

また、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物のふん尿については、廃棄物処理法で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物のふん尿については、事業系一般廃棄物として除外した。

## 3) 産業廃棄物の排出・処理量の推計

産業廃棄物の発生及び処理は、排出事業者から発生し、自社処理と委託処理で構成される。

### 委託処理

産業廃棄物処理業者の受託処理実績から把握した。

### 自社処理

自社で完結（委託に回らない）する処理は、売却又は自社利用、自社での脱水、焼却処理等による減量、自社埋立である。これらの処理を有する事業者の大部分（量的カバー）は、産業廃棄物の多量排出事業者であると仮定し、多量排出事業者及び準多量排出事業者から報告データで把握した。

なお、及び の情報から把握できない要因を整理し、捕捉調査を実施した。

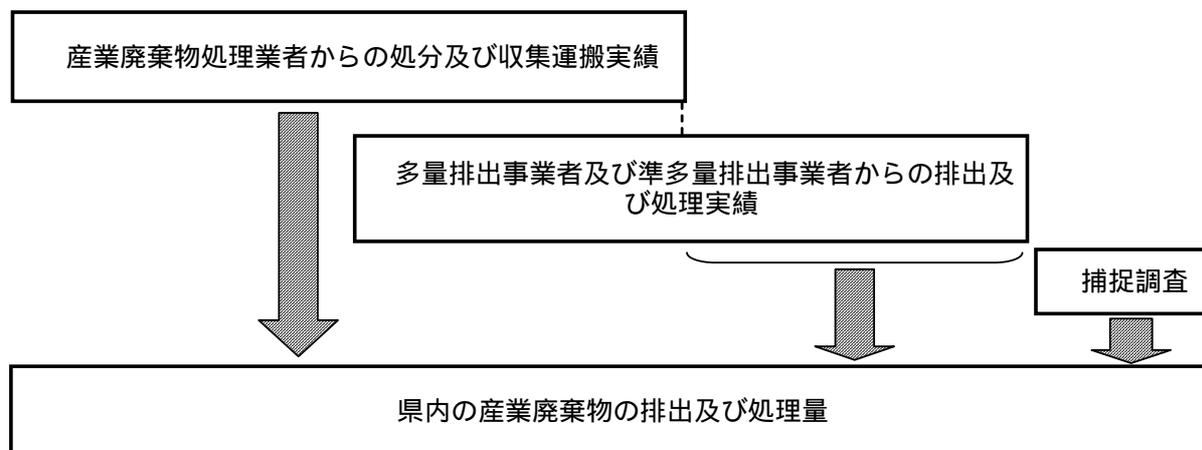


図 1.1 産業廃棄物の排出・処理量の推計方法の概略

### (1)産業廃棄物処理業者からの処分及び収集運搬実績

排出事業者より排出された産業廃棄物のうち、県内又は県外の間接処理又は最終処分業者で処理された産業廃棄物について、委託者（排出事業者）を整理し、処理フローを把握した。

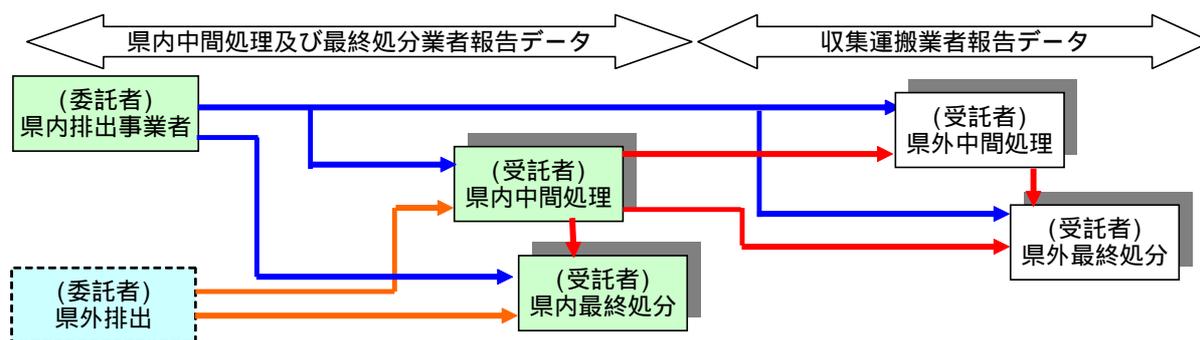


図 1.2 処分実績及び収集運搬実績データからの処理フロー作成概念図

(2) 排出事業者からの排出及び処理実績

廃棄物処理法に基づく多量排出事業者実施報告に基づく排出事業者の実績報告より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者内で処理が完結している自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量について、処理フローを把握した。

(3) 捕捉調査

(1)、(2)の情報から十分に把握できない、脱水等による自己中間処理量（自己減量化量）については、既存資料により補完した。

## 第2章 調査結果の概要

### 2.1 平成20年度の産業廃棄物の排出量

平成20年度の1年間に岩手県内で排出された産業廃棄物の排出量は2,035千トンとなっており、種類別にみると、がれき類が822千トン(40%)で最も多く、次いで、汚泥が762千トン(37%)となっており、この2種類で全体の77%を占めている。(図2.1)

業種別にみると、建設業が943千トン(46%)で最も多く、以下、電気・水道業が435千トン(21%)、製造業が389千トン(19%)となっており、この3業種で全体の86%を占めている。(図2.2)

排出量を種類別、業種別にみると表2.1のとおりである。

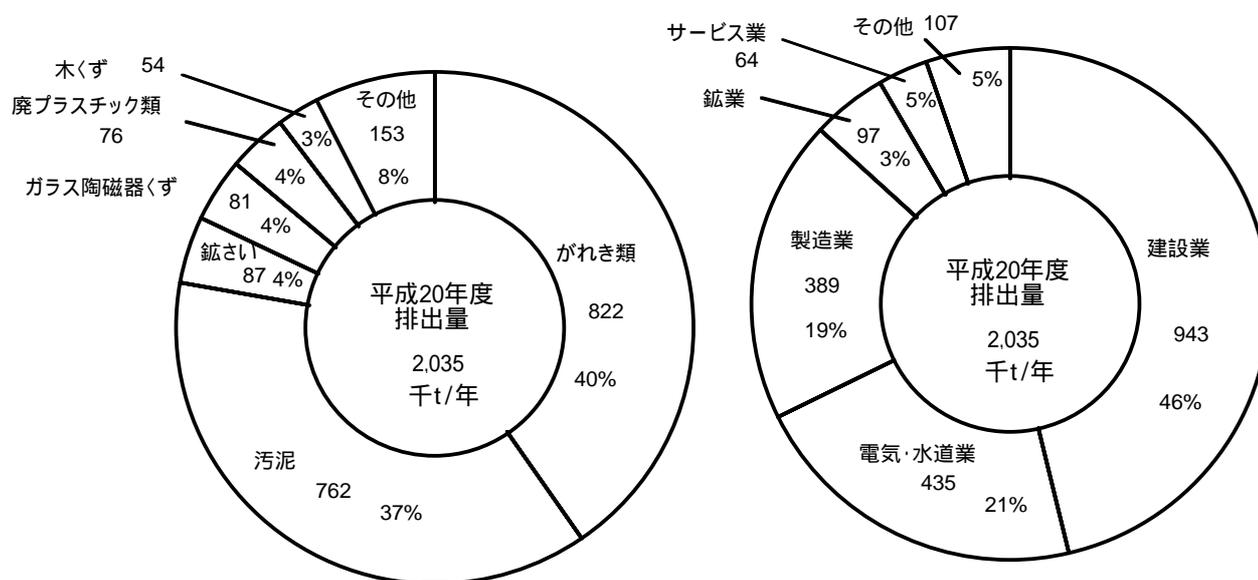


図 2.1 産業廃棄物の種類別の排出量

図 2.2 産業廃棄物の業種別の排出量

表 2.1 産業廃棄物の種類別、業種別の排出量（平成 20 年度）

（単位：千t/年）

業種 種類														
	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	複合サービス業	サービス業	その他の業種
合計	2,035 (100%)	97 (5%)	943 (46%)	389 (19%)	435 (21%)	0 (0%)	1 (0%)	24 (1%)	1 (0%)	13 (1%)	0 (0%)	5 (0%)	64 (3%)	62 (3%)
燃え殻	11 (1%)		1	9	0			0	0	0		0	1	0
汚泥	762 (37%)	97	7	169	425		0	2	1	0	0	3	16	42
廃油	17 (1%)	0	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
廃酸	28 (1%)		0	13	0	0	0	0		7	0	0	6	0
廃アルカリ	15 (1%)		0	9	0	0	0	0		0	0	0	1	5
廃プラスチック類	76 (4%)	0	22	11	1	0	1	18	0	2	0	1	19	1
紙くず	2 (0%)		2	1										
木くず	54 (3%)		54	0										
繊維くず	0 (0%)		0											
動植物性残さ	11 (1%)			11										
動物系固形不要物	10 (1%)			0										10
ゴムくず	0 (0%)		0	0									0	
金属くず	16 (1%)		8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
ガラス陶磁器くず	81 (4%)		23	38	8		1	3	0	1	0	0	8	0
鉱さい	87 (4%)		0	87									0	
がれき類	822 (40%)		822											
ばいじん	26 (1%)		0	25	1									
動物のふん尿														
動物の死体	5 (0%)			0									2	3
その他	10 (0%)		3	1	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0

〔参考〕 産業廃棄物の種類別、業種別の排出量（平成 19 年度）

（単位：千t/年）

業種 種類														
	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	複合サービス業	サービス業	その他の業種
合計	2,248 (100%)	119 (5%)	1,111 (49%)	445 (20%)	438 (19%)	0 (0%)	1 (0%)	17 (1%)	1 (0%)	6 (0%)	1 (0%)	3 (0%)	55 (2%)	49 (2%)
燃え殻	13 (1%)		1	10	0		0	0	0	0	0	0	1	0
汚泥	792 (35%)	118	11	171	434	0	0	2	0	1	1	2	12	40
廃油	18 (1%)	0	0	9	0	0	0	1	0	0	0	0	7	0
廃酸	4 (0%)		0	3	0	0	0	0		0	0	0	1	0
廃アルカリ	13 (1%)		0	5	0	0	0	0		0	0	0	2	6
廃プラスチック類	69 (3%)	0	19	14	0	0	0	13	0	3	0	1	18	1
紙くず	2 (0%)		2	1										
木くず	72 (3%)		53	19										
繊維くず	0 (0%)		0											
動植物性残さ	10 (0%)			10										
動物系固形不要物	0 (0%)			0										
ゴムくず	0 (0%)												0	
金属くず	17 (1%)		8	3	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0
ガラス陶磁器くず	84 (4%)		21	54	2	0	0	0	0	0	0	0	5	0
鉱さい	121 (5%)		0	120									1	
がれき類	993 (44%)	1	991	0									0	
ばいじん	26 (1%)		0	24	2						0	0		
動物のふん尿														
動物の死体	3 (0%)			0									0	2
その他	11 (1%)		4	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0

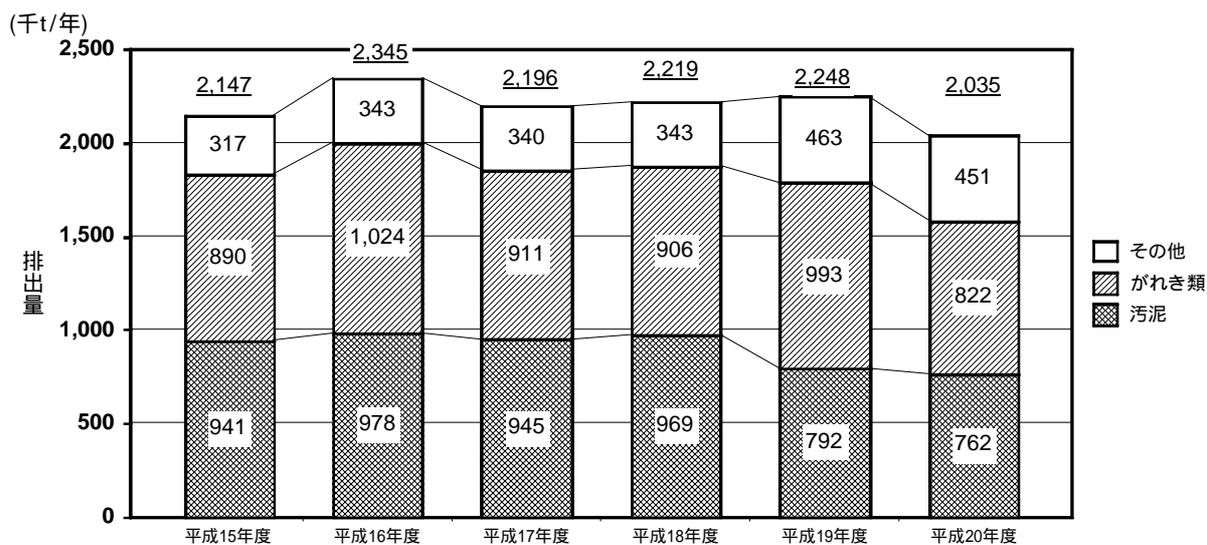


図 2.3 排出量（種類別）の推移

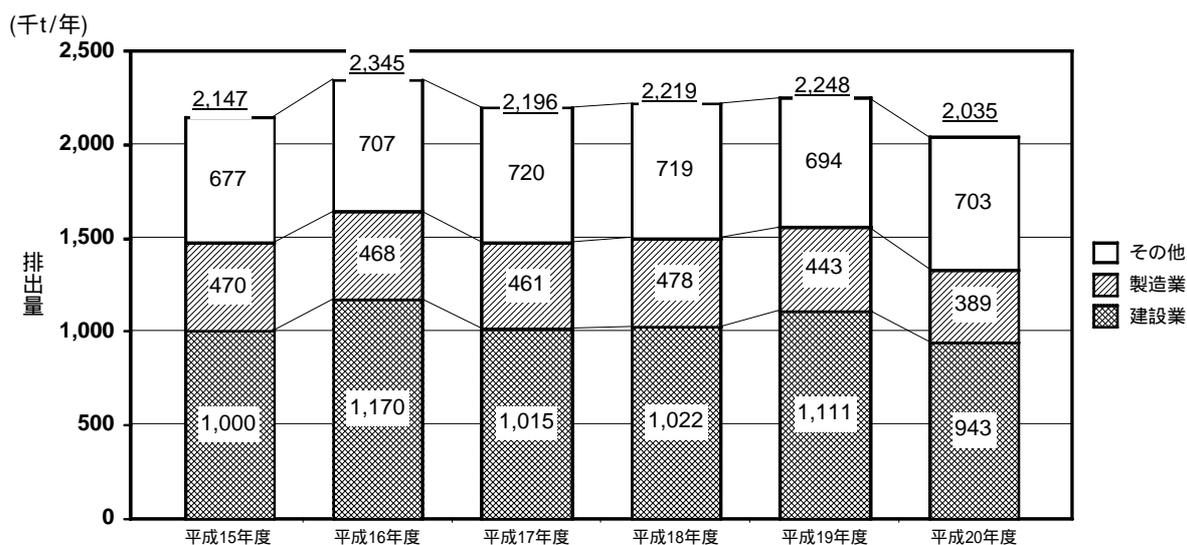


図 2.4 排出量（業種別）の推移

排出量を地域別にみると、盛岡地域が 670 千トン（33%）で最も多く、次いで、岩手中部地域が 379 千トン（19%）、胆江地域が 194 千トン（10%）、気仙地域が 180 千トン（9%）、両磐地域が 168 千トン（8%）、釜石地域が 132 千トン（8%）、宮古地域が 132 千トン（7%）、二戸地域が 108 千トン（5%）、久慈地域が 49 千トン（2%）となっている。

(表 2.2、図 2.5)

なお、4 地域区分(広域)でみると表 2.3 のとおりである。

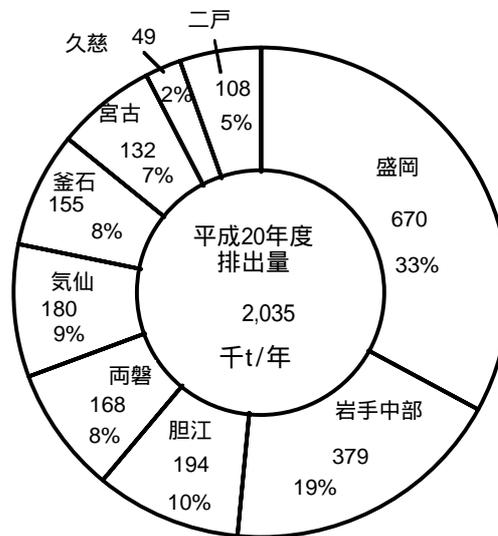


図 2.5 地域別の排出量

表 2.2 産業廃棄物の地域別の排出量（平成 20 年度）

(単位:千t/年)

業種	盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	合計
鉱業	2	10	0	0	82	2	0	0	0	97
建設業	308	146	126	87	57	71	78	29	40	943
製造業	70	188	24	44	12	36	5	7	4	389
電気・水道業	244	19	34	27	13	40	44	11	4	435
その他の業種	45	15	11	11	16	5	5	2	60	171
合計	670 (33%)	379 (19%)	194 (10%)	168 (8%)	180 (9%)	155 (8%)	132 (7%)	49 (2%)	108 (5%)	2,035 (100%)

表 2.3 産業廃棄物の広域別の排出量（平成 20 年度）

(単位:千t/年)

業種	盛岡広域	県南広域	沿岸広域	県北広域	合計
鉱業	2	10	85	0	97
建設業	308	359	206	69	943
製造業	70	256	53	10	389
電気・水道業	244	79	97	15	435
その他の業種	45	37	27	62	171
合計	670 (33%)	741 (36%)	467 (23%)	157 (8%)	2,035 (100%)

## 2.2 平成 20 年度の産業廃棄物の処理状況

平成 20 年度における産業廃棄物の処理状況をみると、排出量 2,035 千トンのうち、95%に当たる 1,931 千トンが中間処理量となっている。この中間処理により 676 千トン（33%）が減量されている。

再生利用量は、排出量の 63%に当たる 1,289 千トン、最終処分量は 70 千トンで、排出量の 3%となっている。（図 2.6）

種類別の処理状況は、図 2.7 のとおりである。

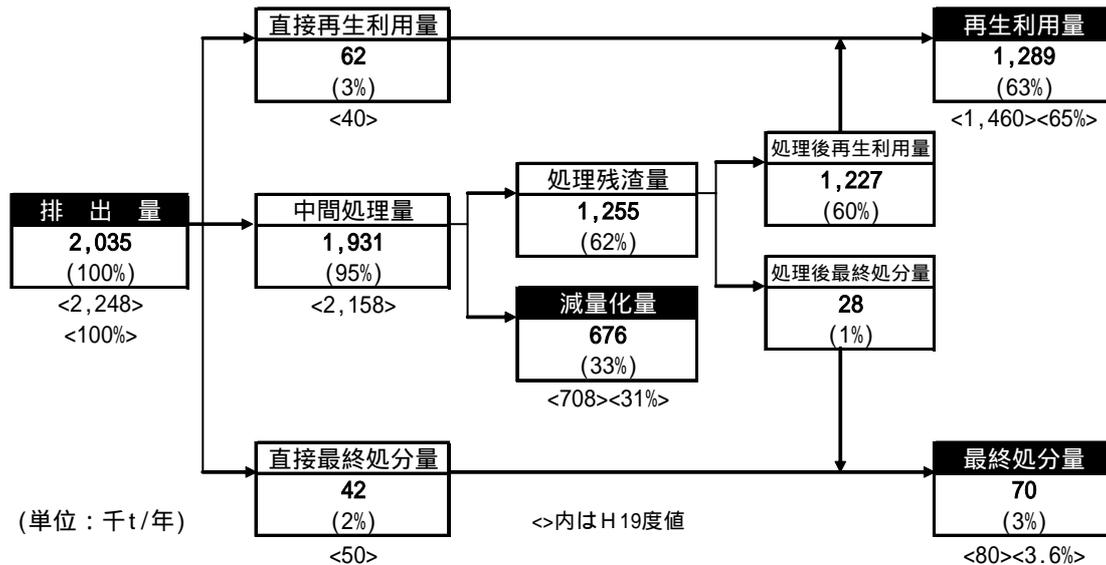


図 2.6 平成 20 年度の産業廃棄物の処理状況

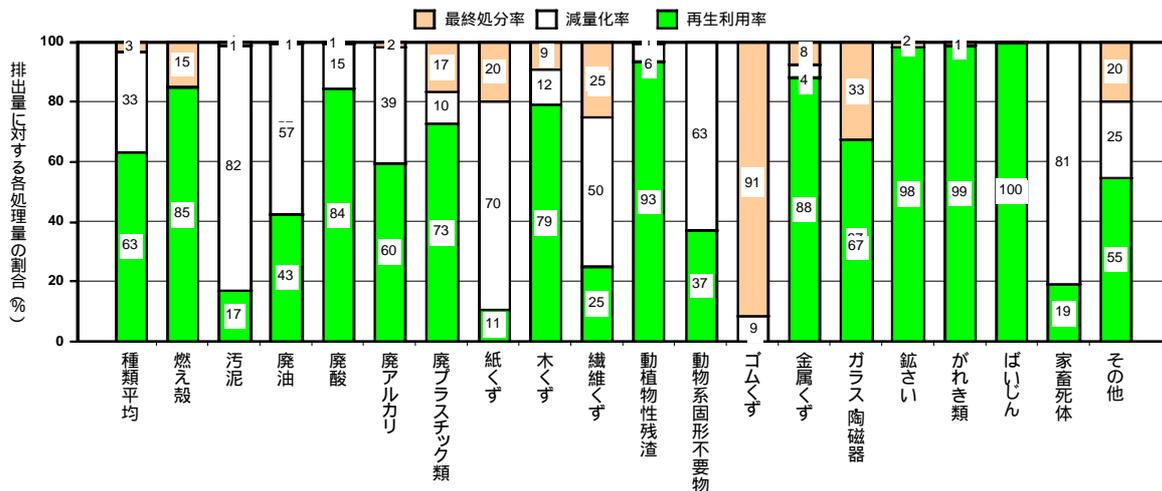


図 2.7 平成 20 年度の産業廃棄物の種類別の処理状況

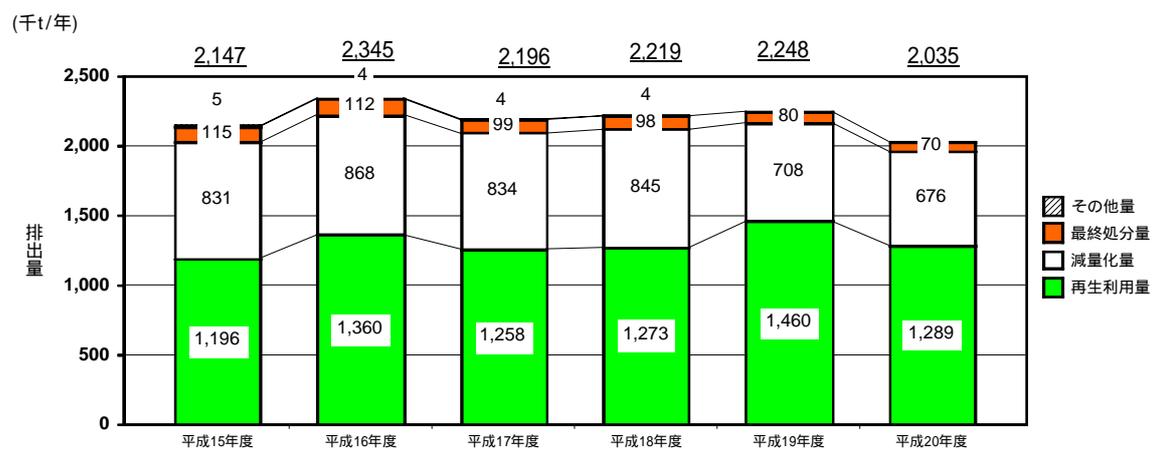


図 2.8 処理量の推移

平成 20 年度における産業廃棄物の処理状況を詳細にみると、図 2.9 のとおりである。

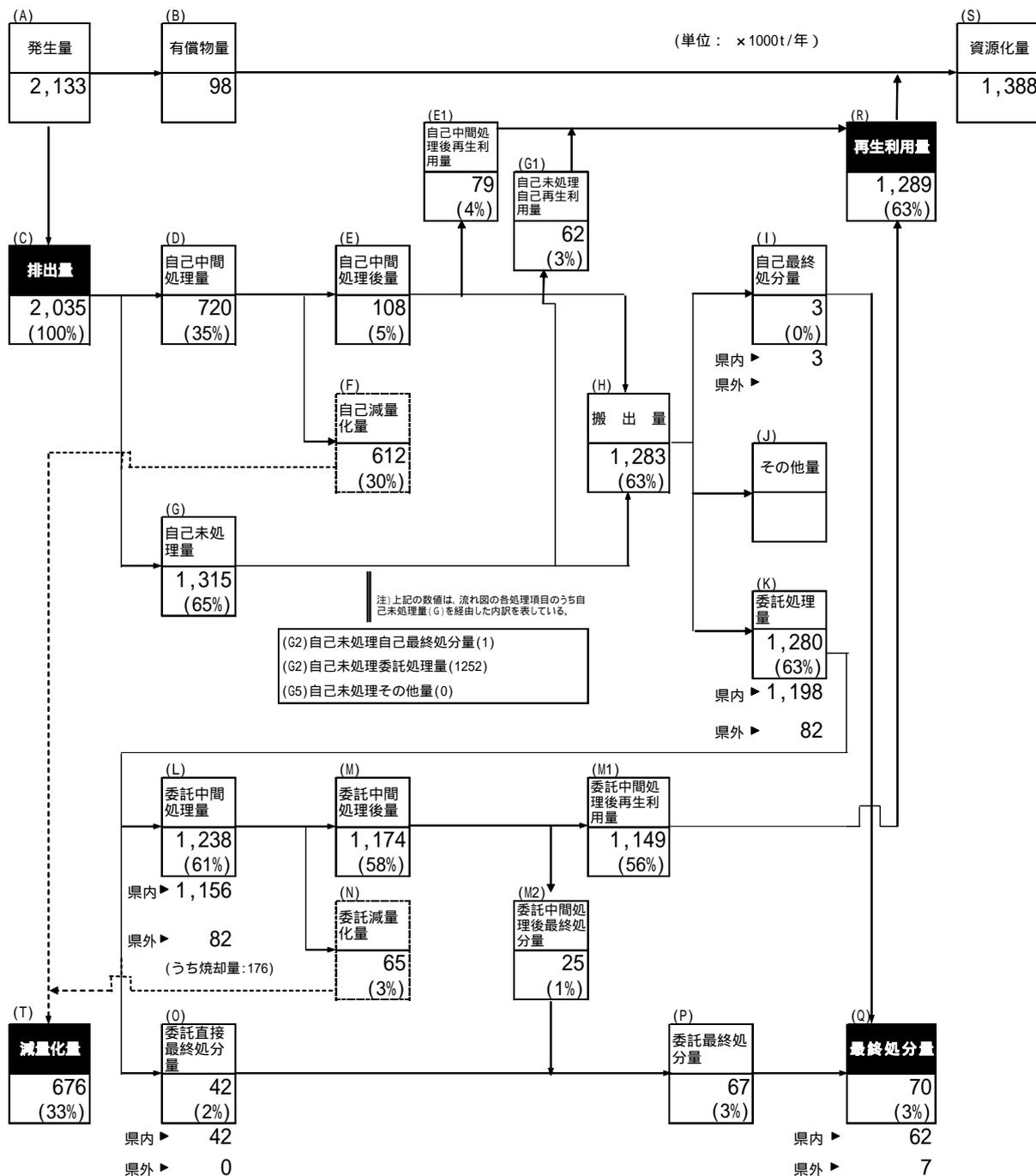


図 2.9 平成 20 年度の産業廃棄物の排出・処理状況

### 2.3 岩手県産業廃棄物排出・処理管理システムの作成結果

平成 20 年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ等を基に、「岩手県産業廃棄物排出・処理管理システム」に情報登録し、岩手県をとりまく産業廃棄物の物流を整理した結果は、図 2.10、図 2.11 のとおりである。

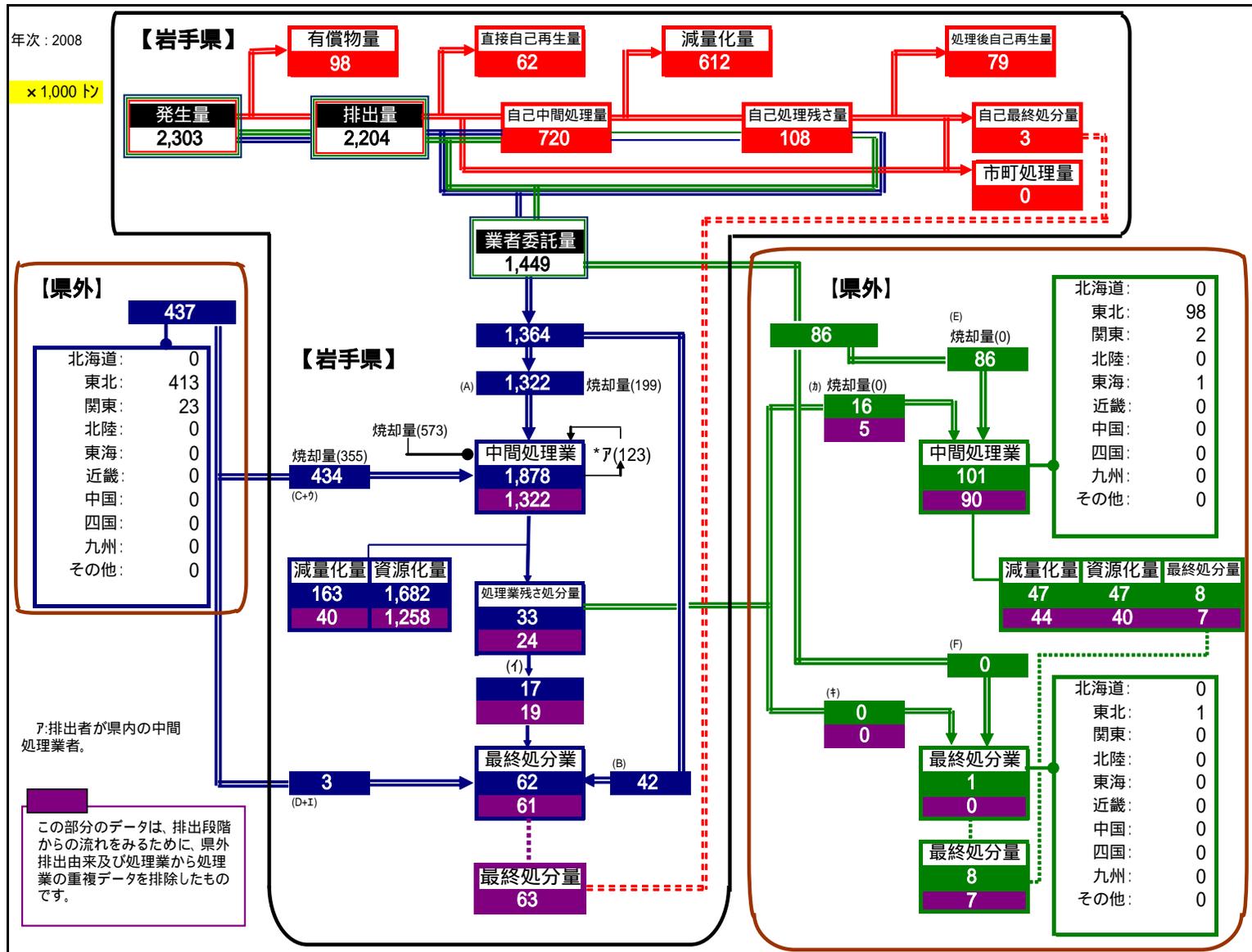


図 2.10 「岩手県産業廃棄物排出・処理管理システム」(メインフロー) < 事業系一般廃棄物を含む登録されたすべての廃棄物情報 >

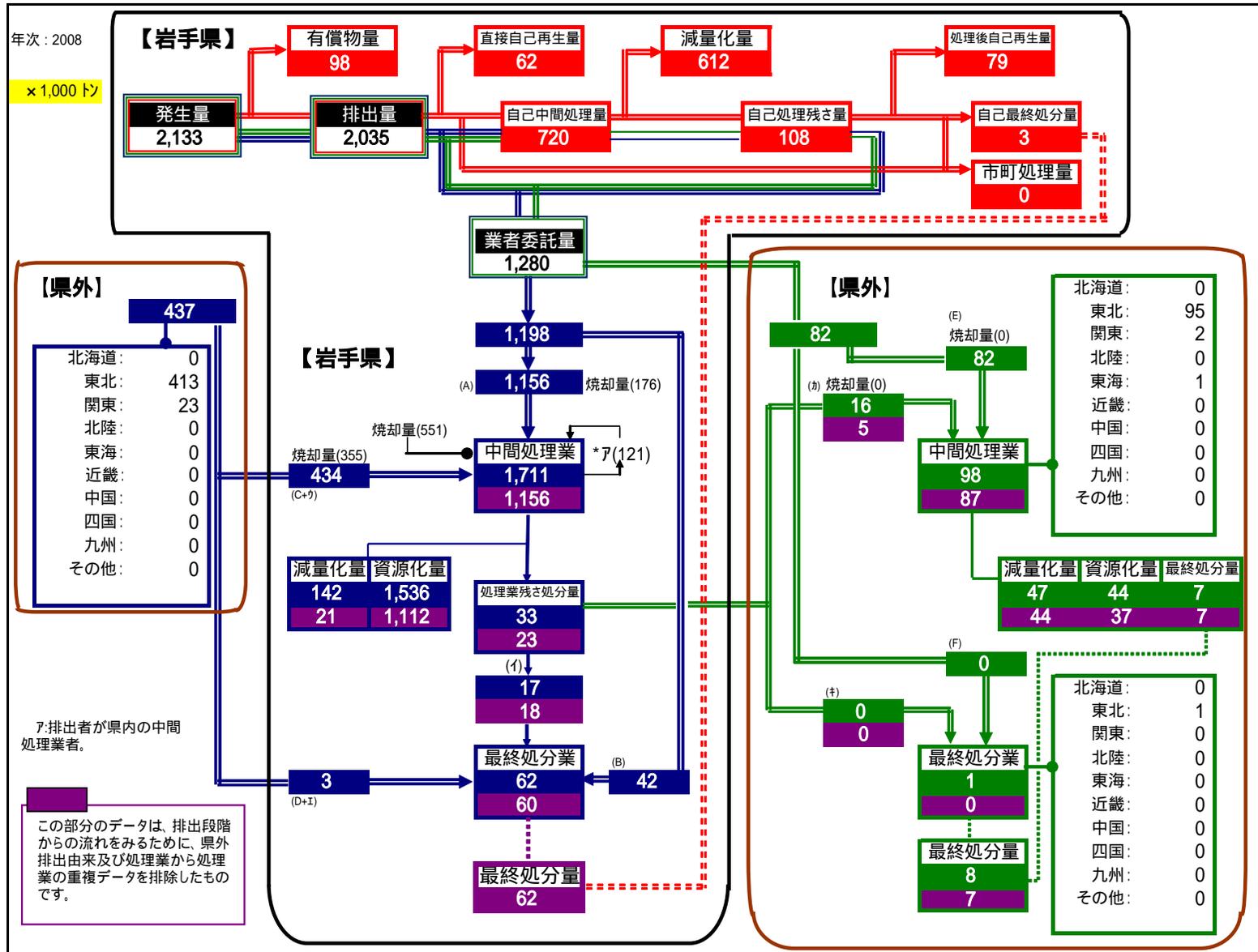


図 2.11 「岩手県産業廃棄物排出・処理管理システム」(産業廃棄物フロー) < 事業系一般廃棄物を除く >

### 第3章 産業廃棄物処理業者の実績

平成20年度における県内での中間処理量は1,878千トンとなっており、このうち1,444千トンが県内の排出事業者等から搬入され、434千トンが県外から搬入されている。

県内の最終処分量は62千トンで、このうち59千トンが県内の排出事業者等から搬入され、3千トンが県外から搬入されている。

県外へ搬入された産業廃棄物は102千トンで、このうち中間処理が101千トン、最終処分が0.5千トンとなっている。

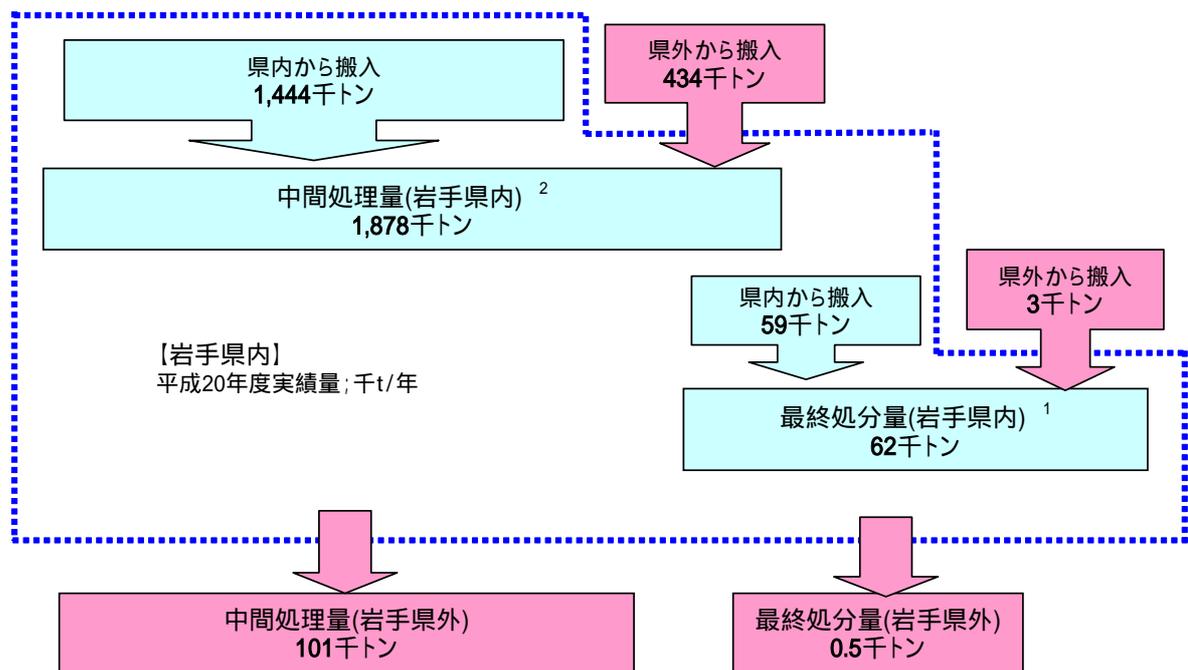


図 3.1 産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

種類別の処理状況を見ると表 3.1、図 3.2～図 3.4 のとおりである。

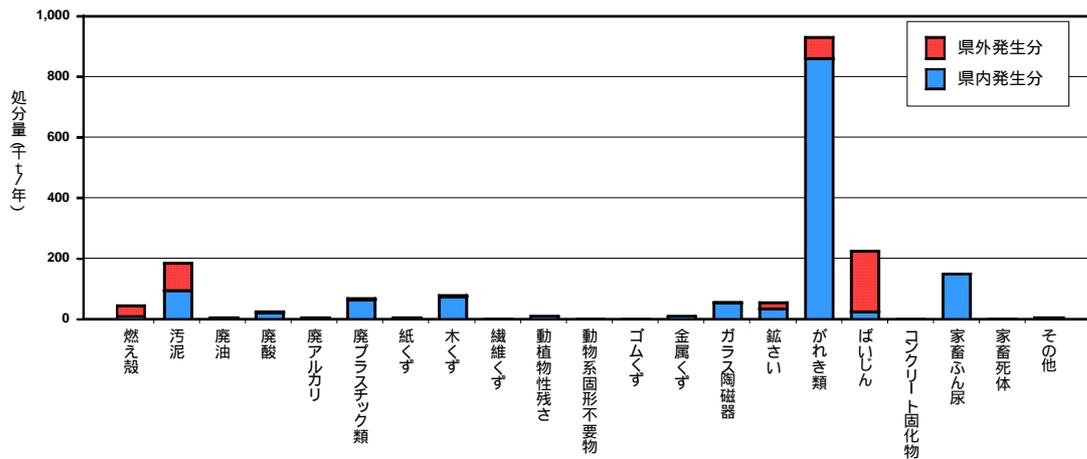


図 3.2 県内の中間処理業者の処分実績

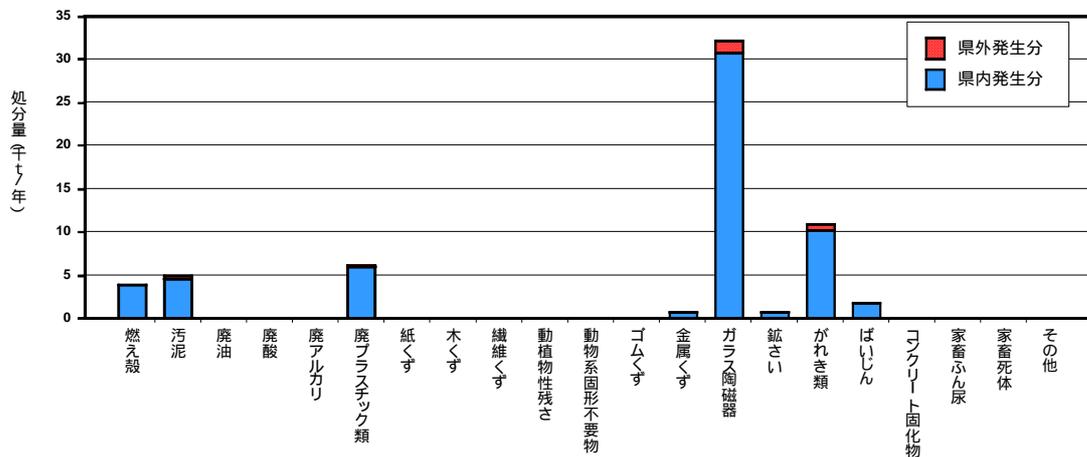


図 3.3 県内の最終処分業者の処分実績

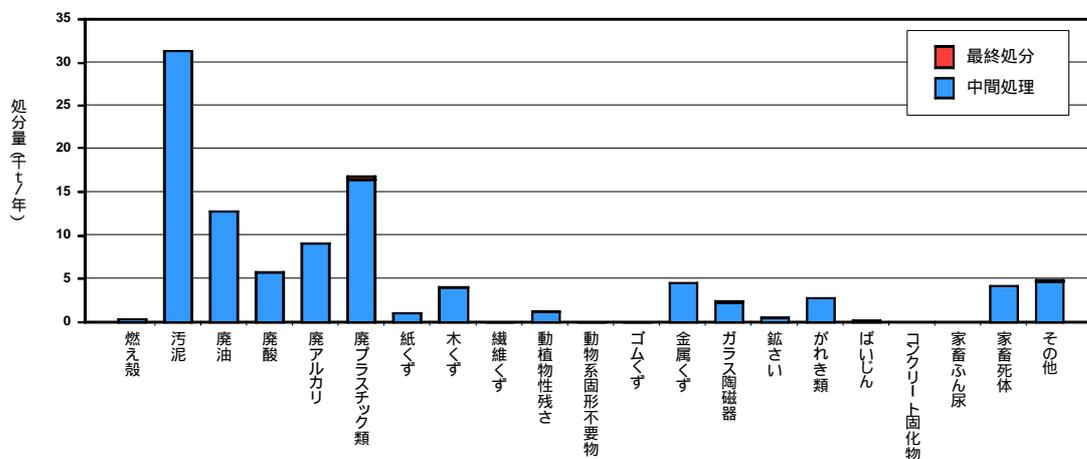


図 3.4 県外へ搬出された処分実績（収集運搬実績より）

表 3.1 産業廃棄物収集運搬、処分実績報告データの単純集計

年次:2008 【業者L1x】 (単位: ×1000t/年)

処理・処分 種類 無変換(補正有)	県内での処分実績																					県外への搬出														
	中間処理業										最終処分業											中間処理										最終処分				
	計	中間処理					計に含 まれない (自社 分) (イ)	計	最終処分				計に含 まれない (自社 分) (シ)	計	中間処理					計	最終処分															
		うち焼却量	県内発生 排出事業者 からの直送 (A)	県内発生 処理業者か らの残さ (ア)	県外搬入 (C+D)	処理後の収支(推計) *再処理に伴う収支を含む			県内発生 排出事業者 からの直送 (B)	県内発生 処理業者か らの残さ (イ)	県外搬入 (D+E)	計に含 まれない (自社 分) (シ)			うち焼却量	県内発生 排出事業者 からの直送 (E)	県内発生 処理業者か らの残さ (カ)	処理後の収支(推計) *再処理に伴う収支を含む			計	県内発生 排出事業者 からの直送 (F)	県内発生 処理業者か らの残さ (キ)													
						処分残渣												資源化	減量化					処分残渣	資源化	減量化										
合計	2,041,811	1,878,349	572,968	1,321,923	122,547	433,878	24,966	1,807,131	46,252		61,753	41,759	17,269	2,724		101,710	101,181	24	85,554	15,627	7,515	46,898	46,768	529	44	485										
	(100.0%)	(92.0%)	(28.1%)	(64.7%)	(6.0%)	(21.2%)	(1.2%)	(88.5%)	(2.3%)		(3.0%)	(2.0%)	(0.8%)	(0.1%)		(5.0%)	(5.0%)	(0.0%)	(4.2%)	(0.8%)	(0.4%)	(2.3%)	(2.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)										
燃え殻	48,240	44,089	44,089	9,496		34,593		44,089			3,822	1,678	2,144			329	329		31	298	308	16	5													
汚泥	224,057	187,745	165,222	84,526	11,819	91,400	863	180,708	6,175		4,949	4,060	535	354		31,363	31,363	16	28,327	3,036	1,655	9,904	19,804													
廃油	18,744	6,024	804	5,052	75	896	12	5,451	560							12,721	12,721	0	11,996	725	88	3,116	9,516													
廃酸	29,354	23,514	265	21,738	3	1,772	246	23,134	133							5,841	5,841		5,683	158	45	1,569	4,227													
廃アルカリ	16,298	7,279	6,542	6,344	401	534	453	6,273	553							9,019	9,019		8,955	64	49	3,577	5,392													
廃プラスチック類	93,370	70,356	32,827	61,084	3,213	6,059	7,248	58,031	5,078		6,228	4,620	1,464	144		16,786	16,447	0	7,560	8,888	2,241	12,130	2,077	339	0	339										
紙くず	4,606	3,558	2,731	3,111	372	75	678	636	2,245							1,047	1,047		1,042	5	7	1,032	8													
木くず	83,827	79,918	14,211	62,192	11,711	6,015	7,109	60,646	12,163							3,909	3,909		2,989	920	220	3,661	28													
繊維くず	1,302	1,301	899	574	273	453	212	439	650							1	1		1	0	0	0	1													
動植物性残さ	13,891	12,661	364	11,350	3	1,308	65	11,671	925							1,229	1,229		1,229		40	1,093	96													
動物系固形不要物	1,078	1,051	555	403	555	93		605	447							26	26			26		26														
ゴムくず	18	0	0	0			0		0		17	2	15			1	1		1		1															
金属くず	18,122	12,810	33	10,658	1,535	617	559	12,251			795	716	49	30		4,517	4,517	7	4,347	171	92	3,769	656													
ガラス・陶磁器くず	92,563	58,000	339	52,501	4,977	522	3,795	54,206			32,188	22,688	8,019	1,482		2,374	2,331		1,246	1,085	984	1,347		44	44											
鉱さい	56,549	55,246	55,246	33,748	1,253	20,245		55,246			729	576	125	28		574	574		574			574														
がれき類	943,452	929,636	45	777,690	85,270	66,675	3,093	926,543			11,003	7,255	3,062	687		2,813	2,813		2,811	2	279	2,534														
ばいじん	230,420	228,473	228,473	26,222		202,251		228,473			1,858	1	1,856			89	89		3	86	83	1	6													
コンクリート固化物	88	88	88		88			88																												
動物のふん尿	152,634	152,634	19,217	152,020	577	37		136,695	15,939																											
動物の死体	4,787	557		348		209		56	501							4,230	4,230		4,230			846	3,384													
その他	8,413	3,409	1,018	2,864	422	123	634	1,891	884		164	162	1	0		4,840	4,694		4,532	162	1,423	1,703	1,569	146		146										
感染性廃棄物	2,338	1,018	1,018	1,017	0	1	134		884							1,320	1,320		1,320		8	223	1,089													
混合廃棄物	2,375	247		125		123	242	5			164	162	1	0		1,965	1,819		1,659	160	180	1,479	161	146		146										
その他	3,699	2,144		1,723	422		258	1,886								1,555	1,555		1,552	2	1,235	1	319													

#### 第4章 産業廃棄物多量・準多量排出事業者の排出・処理実績

平成20年度における多量・準多量排出事業者からの実施報告に基づく排出事業者からの実績報告は表4.1、表4.2のとおりである。

**表4.1 産業廃棄物多量・準多量排出事業者の排出・処理実績（種類別）**

【多量L1】		(単位：t/年)									
処理・処分 種類 無変換(補正有)	計画 目標 発生量	実施状況									
		自社処理									委託処理量
		発生量	有価物量	直接再生利用量	直接最終処分量	中間処理量	減量化量	残さ量	中間処理後の自己利用・売却量	中間処理後の自己最終処分量	
合計	558,356	636,425 (100.0%)		61,965 (9.7%)	816 (0.1%)	154,709 (24.3%)	99,532 (15.6%)	55,177 (8.7%)	49,437 (7.8%)		424,676 (66.7%)
燃え殻	5,898	5,865									5,865
汚泥	80,806	117,435		30		99,740	84,361	15,380	11,441		21,603
有機性汚泥	49,452	101,821				94,533	80,195	14,338	11,441		10,185
無機性汚泥	31,354	15,614		30		5,207	4,166	1,041			11,418
廃油	9,899	9,142		64		280	242	38			8,836
廃酸	3,030	2,737		438							2,300
廃アルカリ	1,576	1,295									1,295
廃プラスチック類	5,228	5,162				10		10	0		5,162
紙くず	545	411									411
木くず	16,454	49,238				3,216		3,216	2,577		46,661
繊維くず	477	248									248
動植物性残さ	2,425	2,814									2,814
動物系固形不要物	10,200	9,963				9,963	6,133	3,830	3,830		
ゴムくず											
金属くず	4,783	4,198		478		143		143	143		3,578
ガラス・陶磁器くず	23,283	22,560		1,041		4,154		4,154	3,056		18,463
鉱さい	76,942	81,420		51,397	762						29,261
がれき類	220,351	206,727		8,428	54	25,603	309	25,294	25,294		172,642
ばいじん	25,759	36,279									36,279
コンクリート固化物											
動物のふん尿	59,592	64,216				9,113	7,954	1,159	1,159		55,103
動物の死体	491	567				567	476	91	91		
その他	10,619	16,145		89		1,920	57	1,863	1,846		14,154
感染性廃棄物	390	402									402
混合廃棄物	9,581	15,218				1,920	57	1,863	1,846		13,316
その他	648	525		89							436

表 4.2 産業廃棄物多量・準多量排出事業者の排出・処理実績（業種別）

【多量L2】

(単位：t/年)

業種	処理・処分	実施状況										
		計画 目標 発生量	自社処理								委託処理 量	
			発生量	有価物量	直接再 生利用 量	直接最終 処分量	中間処理量	減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量		中間処理 後の自己 最終処 分量
合計		558,356	636,425 (100.0%)		61,965 (9.7%)	816 (0.1%)	154,709 (24.3%)	99,532 (15.6%)	55,177 (8.7%)	49,437 (7.8%)		424,676 (66.7%)
農業		71,493	76,077				19,643	14,563	5,080	5,080		56,434
漁業												
林業												
鉱業												
建設業		266,271	275,821		8,936	54	30,665	309	30,356	29,717		236,804
製造業		204,866	240,495		53,029	762	73,859	57,351	16,508	13,851		115,503
	食料品	3,497	20,049				19,319	18,782	538	169		1,098
	飲料・飼料	2,245	2,547									2,547
	繊維											
	衣服											
	木材	1,650	2,900									2,900
	家具											
	パルプ・紙	39,463	47,559		89		41,481	30,209	11,272	11,272		5,989
	出版・印刷											
	化学	12,555	12,899		64		4,395	4,194	200			8,640
	石油・石炭											
	プラスチック											
	ゴム											
	皮革											
	窯業・土石	13,949	24,147		1,041		8,664	4,166	4,498	2,410		16,531
	鉄鋼	32,481	31,419									31,419
	非鉄金属											
	金属	3,789	3,970									3,970
	一般機器											
	電気機器	9,958	7,913		438							7,476
	情報通信機器	641	432									432
	電子部品・デバイス	4,840	3,269									3,269
	輸送機器	79,742	83,337		51,397	762						31,178
	精密機器	57	55									55
	その他・不明											
電気・ガス・水道業		10,096	38,374				29,692	27,309	2,384			11,065
	電気業											
	ガス業											
	熱供給業											
	上水道業	6,204	5,560									5,560
	工業用水道業											
	下水道業	3,892	32,814				29,692	27,309	2,384			5,506
情報通信業		2,661	2,843									2,843
運輸業												
卸・小売業												
金融・保険業												
不動産業												
飲食店・宿泊業												
医療・福祉		395	408									408
教育・学習支援業												
複合サービス業												
サービス業		2,574	2,407				850		850	789		1,618
公務												
その他												

## 第5章 産業廃棄物の排出・処理状況の結果

### (1) 排出量

平成20年度の1年間に岩手県内で排出された産業廃棄物の排出量は2,035千トンとなっており、種類別にみると、がれき類が822千トン(40%)で最も多く、次いで、汚泥が762千トン(37%)となっており、この2種類で全体の77%を占めている。

(図 5.1)

排出量を種類別、業種別にみると表5.1のとおりである。

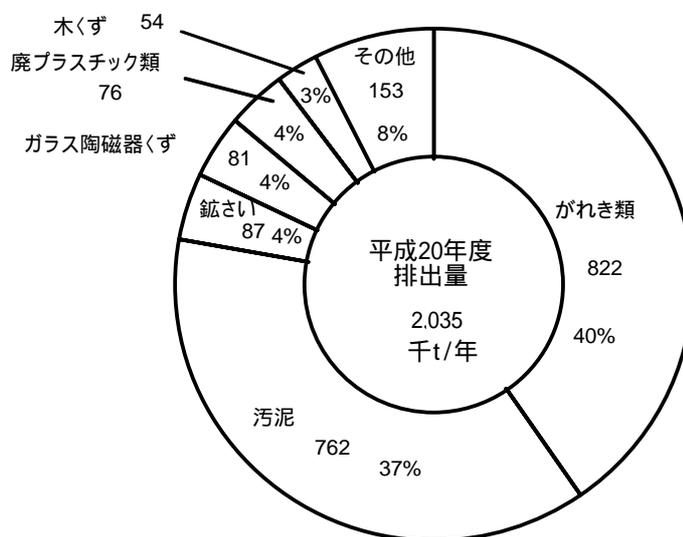


図 5.1 産業廃棄物の種類別の排出量

表 5.1 産業廃棄物の種類別、業種別の排出量

(単位：千t/年)

種類	業種													
	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	複合サービス業	サービス業	その他の業種
合計	2,035 (100%)	97 (5%)	943 (46%)	389 (19%)	435 (21%)	0 (0%)	1 (0%)	24 (1%)	1 (0%)	13 (1%)	0 (0%)	5 (0%)	64 (3%)	62 (3%)
燃え殻	11 (1%)		1	9	0			0	0	0		0	1	0
汚泥	762 (37%)	97	7	169	425		0	2	1	0	0	3	16	42
廃油	17 (1%)	0	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
廃酸	28 (1%)		0	13	0	0	0	0		7	0	0	6	0
廃アルカリ	15 (1%)		0	9	0	0	0	0		0	0	0	1	5
廃プラスチック類	76 (4%)	0	22	11	1	0	1	18	0	2	0	1	19	1
紙くず	2 (0%)		2	1										
木くず	54 (3%)		54	0										
繊維くず	0 (0%)		0											
動植物性残さ	11 (1%)			11										
動物系固形不要物	10 (1%)			0										10
ゴムくず	0 (0%)		0	0									0	
金属くず	16 (1%)		8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
ガラス陶磁器くず	81 (4%)		23	38	8		1	3	0	1	0	0	8	0
鉱さい	87 (4%)		0	87									0	
がれき類	822 (40%)		822											
ばいじん	26 (1%)		0	25	1									
動物のふん尿														
動物の死体	5 (0%)			0									2	3
その他	10 (0%)		3	1	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0

## (2)再生利用量

平成20年度の1年間に岩手県内で排出された産業廃棄物の再生利用量は1,289千トンとなっており、種類別にみると、がれき類が811千トン(63%)で最も多く、次いで、汚泥が129千トン(10%)、以下、鉱さいが86千トン(7%)、廃プラスチック類55千トン(4%)、ガラス陶磁器くず54千トン(4%)等となっている。(図5.2)

再生利用量を種類別、業種別にみると表5.2のとおりである。

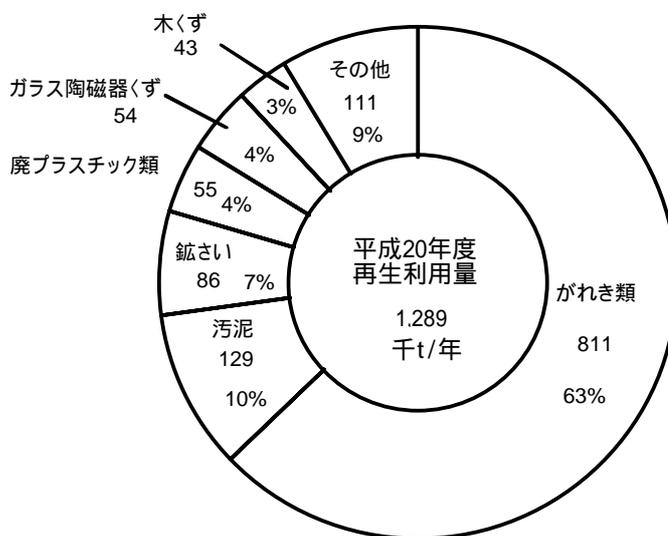


図5.2 産業廃棄物の種類別の再生利用量

表5.2 産業廃棄物の種類別、業種別の再生利用量

(単位：千t/年)

業種 種類	業種													
	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	複合サービス業	サービス業	その他の業種
合計	1,289 (100%)	30 (2%)	889 (69%)	223 (17%)	20 (2%)	0 (0%)	1 (0%)	21 (2%)	0 (0%)	8 (1%)	0 (0%)	3 (0%)	42 (3%)	52 (4%)
燃え殻	10 (1%)			9				0				0	1	
汚泥	129 (10%)	30	4	34	11		0	1	0	0	0	1	7	41
廃油	7 (1%)	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
廃酸	23 (2%)		0	10		0	0	0		7	0	0	6	
廃アルカリ	9 (1%)		0	3		0		0		0	0		1	5
廃プラスチック類	55 (4%)	0	16	4	0	0	0	17	0	0	0	1	14	1
紙くず	0 (0%)		0	0										
木くず	43 (3%)		42	0										
繊維くず	0 (0%)		0											
動植物性残さ	11 (1%)			11										
動物系固形不要物	4 (0%)			0										4
ゴムくず														
金属くず	14 (1%)		7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
ガラス陶磁器くず	54 (4%)		4	35	7		0	2	0	0	0	0	5	0
鉱さい	86 (7%)			86										
がれき類	811 (63%)		811											
ばいじん	26 (2%)			25	1									
動物のふん尿														
動物の死体	1 (0%)			0									0	1
その他	5 (0%)		3	0		0	0	0	0	0	0	0	2	0

\*種類は、中間処理により変化した種類で集計したもの。

### (3)最終処分量

平成20年度の1年間に岩手県内で排出された産業廃棄物の最終処分量は70千トンとなっており、種類別にみると、ガラス・陶磁器くず26千トン(37%)で最も多く、次いで、廃プラスチック類が11千トン(16%)、以下、がれき類が10千トン(15%)、汚泥が8千トン(12%)等となっている。(図5.3)

最終処分量を種類別、業種別にみると表5.3のとおりである。

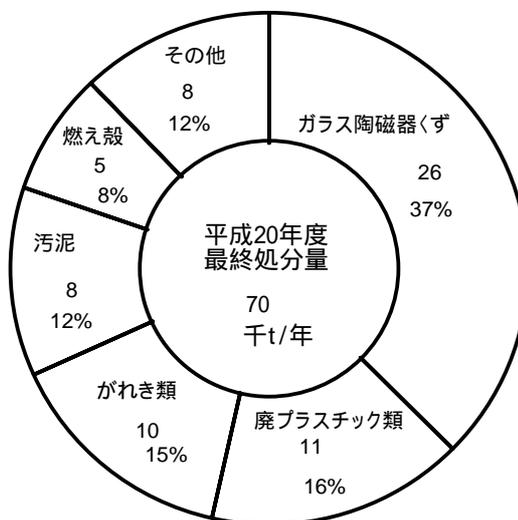


図 5.3 産業廃棄物の種類別の最終処分量

表 5.3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

(単位：千t/年)

業種	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	複合サービス業	サービス業	その他の業種
合計	70 (100%)	0 (0%)	43 (62%)	12 (18%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (3%)	0 (0%)	1 (2%)	0 (0%)	1 (1%)	9 (13%)	0 (1%)
燃え殻	5 (8%)		2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
汚泥	8 (12%)		1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
廃油														
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	11 (16%)	0	5	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0
紙くず	0 (0%)		0											
木くず	4 (5%)		4	0										
繊維くず	0 (0%)		0											
動植物性残さ	0 (0%)			0										
動物系固形不要物														
ゴムくず	0 (0%)		0	0									0	
金属くず	1 (2%)		1	0			0	0		0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	26 (37%)		19	3	0		0	1	0	0	0	0	3	0
鉱さい	1 (2%)		0	1									0	
がれき類	10 (15%)		10											
ばいじん	0 (0%)		0	0										
動物のふん尿														
動物の死体														
その他	2 (3%)		0	0	1		0	0	0	0		0	0	0

\*種類は、中間処理により変化した種類で集計したもの。

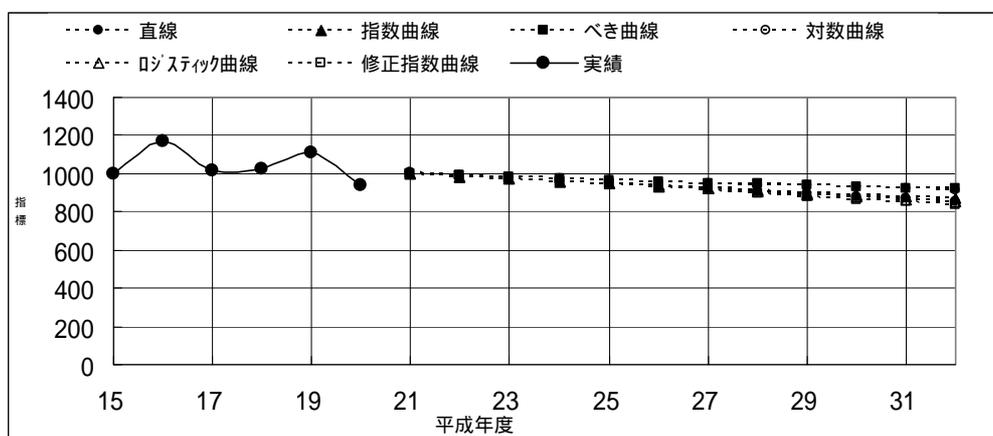
## 第6章 産業廃棄物の将来予測

### (1) 予測に関する基礎情報

産業廃棄物量の将来予測に当たっては、今後とも「大きな技術革新及び法律上の産業廃棄物の分類に変更がなく、現時点における産業廃棄物の排出状況等と業種ごとの活動量指標との関係は変わらない」とものと仮定して、実態調査の過去からの排出量等の実績の動向（トレンド）に対して数種類の回帰式（直線、指数曲線、べき曲線、対数曲線、ロジスティック曲線、修正指数曲線）を当てはめる時系列解析により行い、適合度の高い回帰式を採用することとした。

### 建設業

建設業の排出量の実績値からトレンド予測した結果、相関が最も高い指数曲線を採用した。

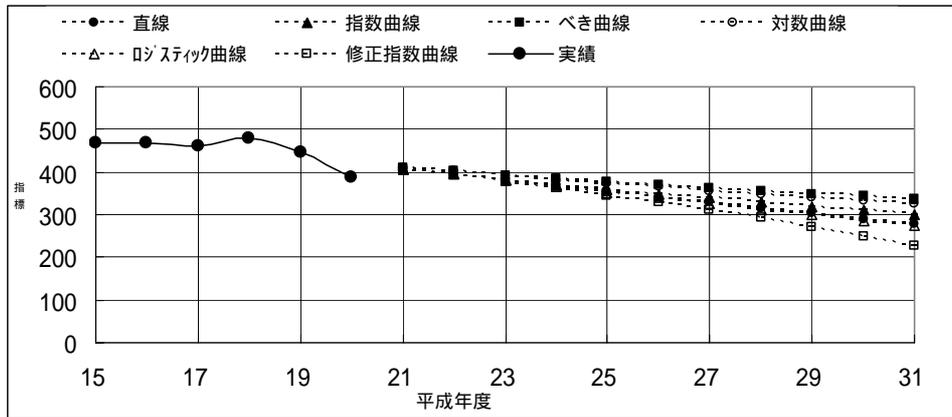


平成	実績	予測												相関係数
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	943	998	985	972	959	946	933	920	907	894	881	869	856	-0.29411
	943	996	983	971	959	947	935	923	912	901	889	878	867	-0.30211
	943	1,002	992	983	974	966	959	951	944	937	931	925	919	-0.28323
	943	1,004	994	985	976	967	959	951	943	936	928	922	915	-0.27590
	943	999	985	972	959	945	932	918	905	891	878	864	851	-0.29234
	943	1,001	987	973	958	944	929	913	898	882	866	850	833	-0.28563

図 6.1 建設業の排出量の予測結果

## 製造業

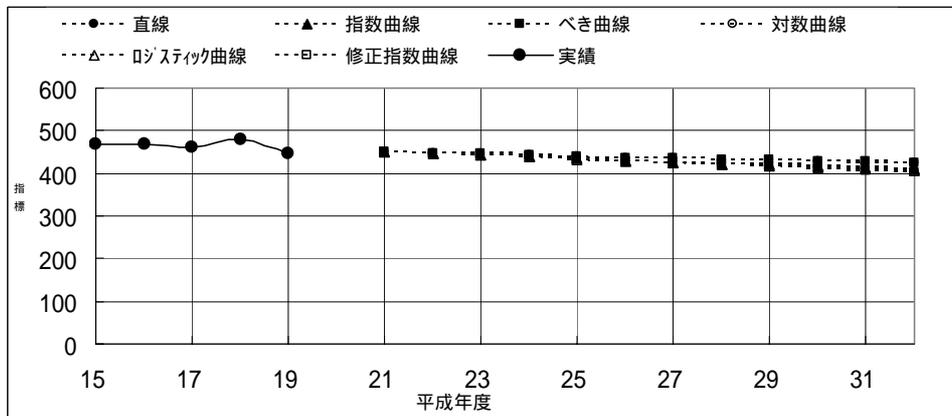
製造業の排出量の実績値からトレンド予測した結果、平成 20 年度の減少の影響を受けて、どの数式においても将来予測値の減少が大きいため(ケース 1)、平成 15 年度から平成 19 年度の実績値を用いた(ケース 2)予測のうち、相関が最も高い指数曲線を採用した。



(単位:千t/年)

平成	実績		予測											相関係数
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
直線	389	407	394	381	368	355	342	329	316	303	290	277	264	-0.74317
指数曲線	389	406	394	382	371	360	349	339	329	319	310	301	292	-0.74178
べき曲線	389	410	401	392	383	376	368	361	355	348	343	337	332	-0.71819
対数曲線	389	411	401	391	382	373	365	356	349	341	333	326	319	-0.71975
ロジスティック曲線	389	407	394	380	367	353	339	326	313	299	286	273	261	-0.74309
修正指数曲線	389	407	393	378	362	346	328	310	291	271	250	229	206	-0.74334

図 6.2 製造業の排出量の予測結果(ケース 1)



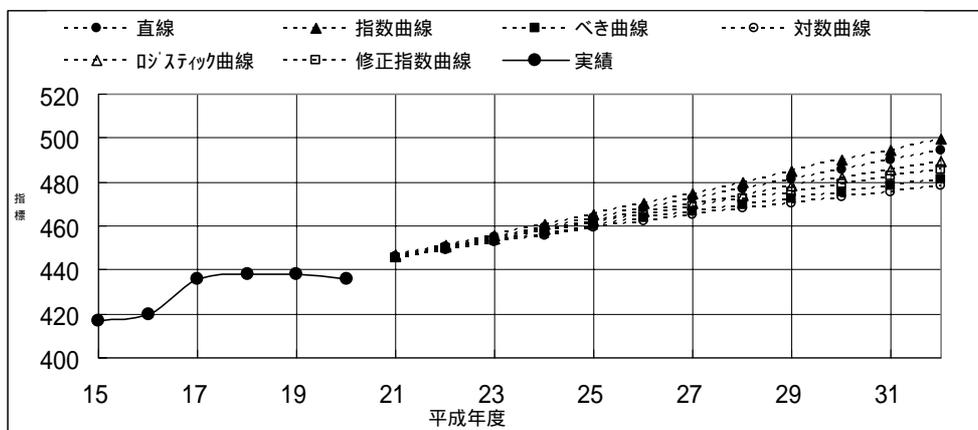
(単位:千t/年)

平成	実績		予測											相関係数
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
直線	389	449	445	441	437	433	429	426	422	418	414	410	406	-0.49576
指数曲線	389	449	445	441	437	434	430	426	423	419	415	412	408	-0.50378
べき曲線	389	451	448	445	442	440	437	435	433	430	428	426	424	-0.48996
対数曲線	389	451	448	445	442	440	437	435	432	430	428	426	424	-0.48207
ロジスティック曲線	389	449	445	441	437	433	429	425	421	417	413	409	405	-0.48896
修正指数曲線	389	449	445	441	437	433	429	425	420	416	411	407	402	-0.48063

図 6.3 製造業の排出量の予測結果(ケース 2)

## 電気・水道業

電気・水道業の排出量の実績値からトレンド予測した結果、相関が最も高い対数曲線を採用した。



(単位:千t/年)

平成	実績		予測											相関係数
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
直線	435	446	451	455	459	464	468	473	477	481	486	490	494	0.84105
指数曲線	435	447	451	456	460	465	470	475	480	485	490	495	500	0.84130
べき曲線	435	446	449	453	457	460	463	467	470	473	476	478	481	0.85874
対数曲線	435	445	449	453	456	459	462	465	468	471	473	476	478	0.85847
ロジスティック曲線	435	446	450	454	458	462	466	470	474	478	482	486	489	0.84084
修正指数曲線	435	446	450	454	457	461	465	469	472	476	479	482	486	0.84058

図 6.4 電気・水道業の排出量の予測結果

## その他の業種

鉱業については、過去からの実績値の減少が大きく、予測式に馴染まないため、将来も現状と同じと仮定した。

また、サービス業等も、経年的な変動が大きく、予測式に馴染まないため、将来も現状と同じと仮定した。

(2) 予測結果(排出量)

(1)の結果を業種別に整理すると表 6.1 のとおりであり、排出量は、平成 20 年度の 2,035 千トンに対して、平成 22 年度が 2,145 千トン、平成 27 年度で 2,082 千トン、平成 32 年度で 2,021 千トンとなった。

また、種類別にみると表 6.2 のとおりである。

**表 6.1 将来予測結果（業種別の排出量）**

(単位:千t/年)

平成	実績	予測											
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
建設業	943	996	983	971	959	947	935	923	912	901	889	878	867
製造業	389	449	445	441	437	434	430	426	423	419	415	412	408
電気・水道業	435	445	449	453	456	459	462	465	468	471	473	476	478
その他	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268
合計	2,035	2,158	2,145	2,133	2,120	2,108	2,095	2,082	2,071	2,059	2,045	2,034	2,021

**表 6.2 将来予測結果（種類別の排出量）**

(単位:千t/年)

	平成20年度	平成22年度		平成27年度		平成32年度	
		H22/H20	H27/H20	H27/H20	H32/H20		
合計	2,035	2,145	1.05	2,082	1.02	2,021	0.99
燃え殻	11	12	1.12	12	1.07	12	1.03
汚泥	762	799	1.05	806	1.06	810	1.06
廃油	17	19	1.10	18	1.06	18	1.03
廃酸	28	30	1.07	29	1.04	28	1.02
廃アルカリ	15	17	1.08	16	1.05	16	1.03
廃プラスチック類	76	78	1.03	76	1.01	75	0.98
紙くず	2	3	1.08	2	1.02	2	0.97
木くず	54	56	1.04	53	0.98	50	0.92
繊維くず	0	0	1.04	0	0.98	0	0.92
動植物性残さ	11	13	1.14	12	1.09	12	1.05
動物系固形不要物	10	10	1.01	10	1.00	10	1.00
ゴムくず	0	0	1.05	0	1.02	0	1.00
金属くず	16	17	1.05	16	1.01	16	0.97
ガラス陶磁器くず	81	87	1.08	84	1.04	81	1.01
鋳さい	87	99	1.14	95	1.09	91	1.05
がれき類	822	857	1.04	805	0.98	756	0.92
ばいじん	26	30	1.14	29	1.09	28	1.05
コンクリート固化物							
動物のふん尿							
動物の死体	5	5	1.00	5	1.00	5	1.00
その他	10	10	1.03	10	1.01	10	1.05

(3) 予測結果(処理量)

(2)で試算した排出量を基に、各業種別及び種類別における排出量に対する処理率が将来も現状(平成 20 年度)と同じであると仮定して処理処分量の将来予測を行った。

その結果は、表 6.3 のとおりであり、再生利用率及び最終処分率は減少傾向となり、減量化率は増加する結果となった。

表 6.3 将来予測結果(処理量)

(単位:千t/年)

	平成20年度		平成22年度		平成27年度		平成32年度	
排出量	2,035	100.0%	2,145	100.0%	2,082	100.0%	2,021	100.0%
再生利用量	1,289	63.3%	1,359	63.4%	1,293	62.1%	1,230	60.9%
減量化量	676	33.2%	712	33.2%	719	34.5%	724	35.8%
最終処分量	70	3.4%	73	3.4%	70	3.4%	67	3.3%

統計表 1 業種別・種類別の排出量

年次：2008 (単位：×1000t/年)

業種	種類	合計	燃入殻	汚泥	汚泥		廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉛さい	がれき類	ばいじん	コンクリート固化物	動物のふん尿	動物の死体	その他	感染性廃棄物	混合廃棄物	その他		
					有機性汚泥	無機性汚泥																								
合計		2,035	11	762	664	98	17	28	15	76	2	54	0	11	10	0	16	81	87	822	26			5	10	2	2	5		
農業		16	0	2		2				1					10	0	0							3	0	0				
漁業																														
林業		0	0				0			0						0											0	0		
鉱業		97		97	97		0			0																				
建設業		943	1	7	0	7	1	0	0	22	2	54	0			0	8	23	0	822	0						3	0	0	3
製造業		389	9	169	141	28	12	13	9	11	1	0		11	0	0	3	38	87		25			0	1	0	0	0		
	食料品	59	0	49	49	0	0	0	0	1				9	0	0	0	0			0				0	0	0	0	0	
	飲料・飼料	5	0	1	1	0	0	1	0	0				2	0	0	0	0						0	0	0	0	0		
	繊維	0					0			0																				
	衣服																													
	木材	0	0							0		0					0	0												
	家具	0	0							0		0					0	0							0		0			
	パルプ・紙	60	4	53	53	0	0			3	1	0					0	0							0		0	0		
	出版・印刷	7	0	0		0	0	6	0	0	0						1	0							0		0	0		
	化学	15		8	8	0	6	0	0	1				0			0	0							0	0				
	石油・石炭																													
	プラスチック	0		0		0				0								0												
	ゴム	0								0							0	0												
	皮革																													
	窯業・土石	48	0	15		15	0	0		0							0	33	0											
	鉄鋼	49	4	15	12	3	0	1	0	0							0	2	2		25					0		0		
	非鉄金属	0				0				0								0	0											
	金属	3		1	0	1	0	1	1	0							0	0								0		0		
	一般機器	0		0		0	0	0	0	0							0	0												
	電気機器	4		1		1	2	0	0	0							0	0								0	0	0		
	情報通信機器	0		0		0				0							0	0												
	電子部品・デバイス	9		2	0	2	0	1	5	1							0	0	0							0	0	0	0	
	輸送機器	89		2		2	1	0	1	0							0	0	85											
	精密機器	18		18	17	0	0	0	0	0							0	0												
	その他・不明	19	1	4	1	4	2	2	2	4							0	2	2	0						0	0	0	0	
電気・ガス・水道業		435	0	425	425	0	0	0	0	1							0	8			1				1		0	1		
	電気業	0		0		0				0							0	0								0		0		
	ガス業	0		0		0	0			0							0	0												
	熱供給業																													
	上水道業	9		0		0	0			0							0	8								1		1		
	工業用水道業																													
	下水道業	426	0	425	425		0	0	0	0							0	0			1									
情報通信業		0					0	0	0	0																	0	0	0	
運輸業		1		0	0	0	0	0	0	1							0	1								0	0	0	0	
卸・小売業		24	0	2	0	2	0	0	0	18							0	3								0	0	0	0	
金融・保険業		0		0		0		0	0	0							0	0								0	0	0	0	
不動産業		0		0		0		0	0	0							0	0								0	0	0	0	
飲食店・宿泊業		1	0	1	0	1	0			0							0	0								0	0	0	0	
医療・福祉		13	0	0		0	0	7	0	2							0	1								2	2	0	0	
教育・学習支援業		0		0	0	0	0	0	0	0							0	0								0	0	0	0	
複合サービス業		5	0	3	0	3	0	0	0	1							0	0								0	0	0	0	
サービス業		64	1	16	1	15	4	6	1	19						0	4	8	0						2	2	0	1	1	
公務		3	0	2	0	2	0	0	0	0							0	0								0	0	0	0	
その他		43		37		37	0		5																					

統計表 2 種類別の発生及び処理量 (その1)

年次: 2008

(単位: ×1000t/年)

種類	区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量					自己未処理量			搬出量 (H) (I+K+L)	自己最終処分量		
					(D)	自己中間処理後量				(G)	訳			(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
						(E)	(自己中間処理後の処理内訳)				(G1)	(G2)			県内	県外
							再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託処理量 (E3)							
合計		2,133	98	2,035	720	108	79	2	28		1,315	62	1	1,283	3	3
燃え殻		11		11							11			11		
汚泥		764	1	764	671	69	42	2	26		93	0		120	2	2
有機性汚泥		665	0	665	658	68	42	2	24		8			34	2	2
無機性汚泥		99	0	98	14	2	0		2		85	0		87		
廃油		19	2	17	0	0			0		17	0		17		
廃酸		28		28							28	0		27		
廃アルカリ		15		15							15			15		
廃プラスチック類		80	4	76	3	0	0		0		73			73		
紙くず		7	4	2							2			2		
木くず		82	28	54	3	3	3		1		51			51		
繊維くず		0		0							0			0		
動植物性残さ		27	16	11							11			11		
動物系固形不要物		10		10	10	4	4				0			0		
ゴムくず		0		0							0			0		
金属くず		49	32	16	0	0	0				16	0		16		
ガラス・陶磁器くず		84	3	81	4	4	3		1		76	1		76		
鋳さい		87		87							87	51	1	36	1	1
がれき類		825	3	822	26	25	25				796	8	0	788	0	0
ばいじん		25		25							25			25		
コンクリート固化物																
動物のふん尿																
動物の死体		5		5	1	0	0				5			5		
その他産業廃棄物		14	5	10	2	2	2		0		8	0		8		
感染性廃棄物		2		2							2			2		
混合廃棄物等		12	5	7	2	2	2		0		5	0		5		

統計表 2 種類別の発生及び処理量（その2）

年次：2008

(単位：×1000t/年)

種類	区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳								再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (H+O+M2)	その他量		減量化量 (T)	資源化量 (S) (B+R)		
			委託直接最終処分量			委託中間処理量			委託中間処理後量				(処理主体の内訳)					
			(O)	訳		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)			事業者 (Q1)	処理業者 (Q3)				
				県内	県外		県内	県外		再生利用量 (M1)							最終処分量 (M2)	
合計		1,280	42	42	0	1,238	1,156	82	1,174	1,149	25	1,289	70	3	67		676	1,388
燃え殻		11	2	2		10	9	0	10	10	0	10	2		2		0	10
汚泥		118	4	4		114	86	28	91	89	2	130	8	2	6		625	131
	有機性汚泥	32	0	0		32	21	10	25	25	0	67	2	2	0		596	67
	無機性汚泥	87	4	4		83	65	18	66	64	2	64	6		6		29	64
廃油		17				17	5	12	7	7	0	7	0		0		10	10
廃酸		27				27	22	6	23	23	0	23	0		0		4	23
廃アルカリ		15				15	6	9	9	9	0	9	0		0		6	9
廃プラスチック類		73	5	5	0	69	61	8	63	55	8	55	13		13		8	59
紙くず		2				2	2	0	1	0	0	0	0		0		2	5
木くず		51				51	50	1	45	40	5	43	5		5		7	70
繊維くず		0				0	0		0	0	0	0	0		0		0	0
動植物性残さ		11				11	10	1	11	11	0	11	0		0		1	27
動物系固形不要物		0				0	0		0	0		4					6	4
ゴムくず		0	0	0		0	0	0	0			0			0		0	
金属くず		16	1	1		15	11	4	14	14	1	14	1		1		1	47
ガラス陶磁器くず		76	23	23	0	54	53	1	54	50	4	54	26		26			57
鋳さい		35	1	1		34	34	1	34	34		86	1	1	1			86
がれき類		788	7	7		781	778	3	781	778	3	811	10	0	10		0	815
ばいじん		25	0	0		25	25	0	25	25	0	25	0		0			25
コンクリート固化物																		
家畜ふん尿																		
家畜の死体		5				5	0	4	1	1		1					4	1
その他産業廃棄物		8	0	0		7	3	5	5	3	2	5	2		2		2	10
	感染性廃棄物	2				2	1	1	0	0	0	0	0		0		2	0
	混合廃棄物等	5	0	0		5	2	3	5	3	2	5	2		2		0	10

## 参考資料（調査に関する基本的事項）

### (1)調査対象年度

平成 20 年度（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

### (2)調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号。以下「廃棄物処理法」という。）」及び同法施行令に定める以下の産業廃棄物とした。

調査対象廃棄物（ ）内は、細区分。					
燃え殻	汚泥（有機性汚泥、無機性汚泥）	廃油	廃酸	廃アルカリ	
廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形
不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず〔注、本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した〕	鉍さい	がれき類
	動物のふん尿	動物の死体	産業廃棄物を処分するために処理したもの〔注、本報告書における図表では「コンクリート固化物」と略した〕		

特別管理産業廃棄物については、以下に示す区分とした。

特別管理産業廃棄物			
廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）	廃酸（pHが2.0以下の廃酸）		
廃アルカリ（pHが12.5以上の廃アルカリ）	感染性廃棄物	廃石綿等	特定有害廃棄物（廃石綿等を除く）

また、本調査においては、廃棄物の取り扱いを下記のとおりとした。

- (ア)廃棄物処理法上、廃棄物とされない有償物で、今後の社会情勢の変化によっては産業廃棄物に該当する可能性のあるもの(具体的には、金属スクラップなど)は、今回の調査対象に含めた。
- (イ)紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物のふん尿については、「廃棄物処理法」で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物のふん尿については、事業系一般廃棄物とし、調査対象から除外した。
- (ウ)酸性又はアルカリ性を呈する排水であって、これを公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を発生量とした。
- (エ)廃棄物を自己焼却処理した後に燃え殻が発生する場合は、焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

### (3)業種区分

調査対象業種は、日本標準産業分類(平成14年3月改訂、総務庁)に記載されている区分を基本にして、表1に示す業種とした。なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

**表1 調査対象業種**

日本標準産業分類	略称
農業	農業
漁業	漁業
林業	林業
鉱業	鉱業
建設業	建設業
製造業 食料品製造業 飲料・飼料・たばこ製造業 繊維工業(衣服・その他の繊維製品を除く) 衣服・その他の繊維製品製造業 木材・木製品製造業(家具を除く) 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連産業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめしがわ・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 一般機械器具製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 電子部品・デバイス製造業 輸送機械器具製造業 精密機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 衣服 木材 家具 パルプ・紙 印刷・同関連 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 一般機器 電気機器 情報通信機器 電子部品 輸送機器 精密機器 その他
電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業	電気・ガス・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業
情報通信業	情報通信業
運輸業	運輸業
卸・小売業	卸・小売業
金融・保険業	金融・保険業
不動産業	不動産業
飲食店・宿泊業	飲食店・宿泊業
医療・福祉	医療・福祉
教育、学習支援業	教育、学習支援業
複合サービス業	複合サービス業
サービス業	サービス業
公務	公務
上記以外	その他

(4)発生量及び処理状況の流れ図

調査の集計結果は、図 1 に示す発生量及び処理状況の流れ図に示した項目により、とりまとめた。なお、図 1 に示した各項目の用語の定義は、表 2 に示すとおりである。

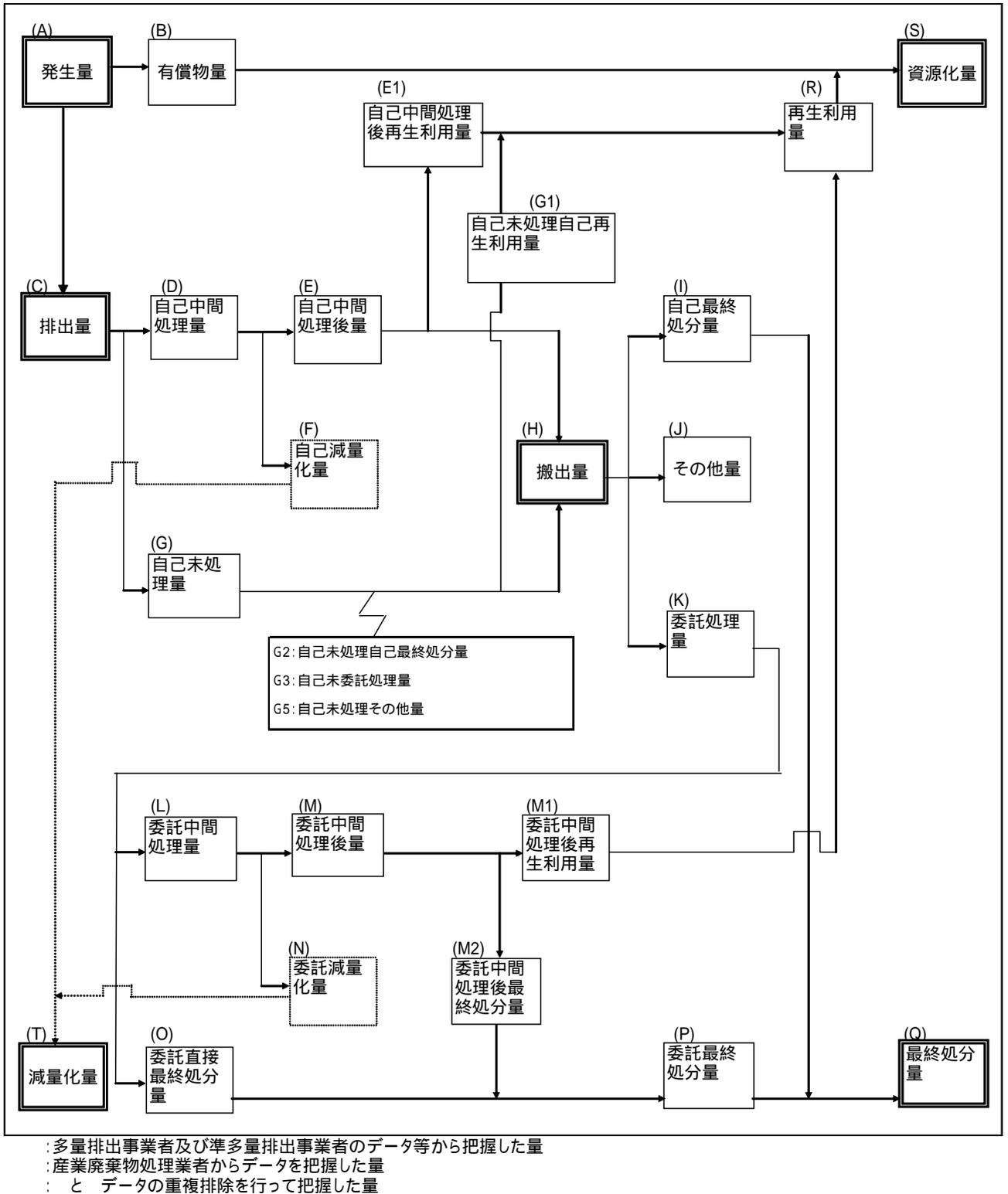


図 1 発生量及び処理状況の流れ図

表2 発生量及び処理状況の流れ図の項目に関する用語の定義

記号	項目	定義
(A)	発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B)	有償物量	(A)発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量(他者に有償売却できるものを自己利用した場合を含む)
(C)	排出量	(A)発生量のうち、(B)有償物量を除いた量
(D)	自己中間処理量	(C)排出量のうち、自ら中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G)	自己未処理量	(C)排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(E)	自己中間処理後量	(D)で中間処理された後の廃棄物量
(F)	自己減量化量	(D)自己中間処理量から(E)自己中間処理後量を差し引いた量
(G1)	自己未処理自己再生利用量	(G)自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2)	自己未処理自己最終処分量	(I)自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分された量
(G3)	自己未処理委託処理量	(K)委託処理量のうち、自己未処理で委託処理された量
(G5)	自己未処理その他量	(J)その他量のうち、自己未処理でその他となった量
(E1)	自己中間処理後再生利用量	(E)自己中間処理後量のうち、自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(H)	搬出量	(I)自己最終処分、(J)その他、(K)委託処理量の合計
(I)	自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J)	その他量	保管されている量、又は、それ以外の量
(K)	委託処理量	中間処理及び最終処分を委託した量
(L)	委託中間処理量	(K)委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(O)	委託直接最終処分量	(K)委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(M)	委託中間処理後量	(L)で中間処理された後の廃棄物量
(N)	委託減量化量	(L)委託中間処理量から(M)委託中間処理後量を差し引いた量
(M1)	委託中間処理後再生利用量	(M)委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(M2)	委託中間処理後最終処分量	(M)委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(P)	委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q)	最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R)	再生利用量	排出事業者又は、処理業者等で再生利用された量
(S)	資源化量	(B)有償物量と(R)再生利用量の合計
(T)	減量化量	排出事業者又は、処理業者等の中間処理により減量された量

#### (5)調査対象区域

調査対象区域は岩手県全域とし、保健所の管轄地域等により、以下に示す9区分とした。

表3 地域区分

地域名	広域地域	構成市町村
盛岡地域	盛岡広域	盛岡市、八幡平市、岩手町、葛巻町、雫石町、紫波町、矢巾町、滝沢村
岩手中部地域	県南広域	北上市、花巻市、遠野市、西和賀町
胆江地域		奥州市、金ヶ崎町
両磐地域		一関市、平泉町、藤沢町
気仙地域	沿岸広域	大船渡市、陸前高田市、住田町
釜石地域		釜石市、大槌町
宮古地域		宮古市、岩泉町、山田町、川井村、田野畑村
久慈地域	県北広域	久慈市、洋野町、野田村、普代村
二戸地域		二戸市、一戸町、軽米町、九戸村

#### (6)単位と数値に関する処理

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを明らかにするため、図表の単位は「千t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千トン」で記述している。

本報告書に記載されている千トン表示及び構成比(%)の数値は、四捨五入しているために、総数と個々の合計とは一致しないものがある。

本報告書中の表中の空欄は、推計上の該当値がないもの、「0」表示は、500t/年未満であることを示している。

